



(株)東芝 横浜事業所 サイトレポート情報	
所在地	横浜市磯子区新杉田町 8
敷地面積	405,000m ² 、建家面積：187,000m ² 、緑化率21.7%
設立	1971年4月、従業員：4125人(2011年6月現在)
主要製品	金属材料部品
ISO14001 認証取得	1997年9月、最新更新年月：2010年7月 (ISO 認証番号：EC97J1072)



ごあいさつ

(株)東芝横浜事業所は、原子力事業に関わるエンジニアリング部門・技術開発部門、半導体の先端技術の研究部門、小型燃料電池の研究開発部門、並びに、材料・部品・電子デバイスの設計・製造部門、最先端の生産技術の研究開発部門、建築設計部門、光記録装置の開発部門を有する多様な事業環境の集合体です。当事業所は、この事業環境、及び東京湾に面した立地環境を踏まえて環境保全を経営の最重要課題の一つと位置付け、環境に配慮した研究開発並びに製品作りを行い、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指して、持続可能な社会の実現に貢献すると共に、より良い地球環境を創造します。



環境保全責任者 大島次郎

2010年度の環境の主な取組み

- | | |
|---|--|
| <p>I) 行事</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月 地球環境会議 6月 環境月間行事、環境e-ラーニング(一般) 7月 ISO14001サーベイランス審査(認証登録継続) 10月 3R推進月間行事
(横浜)環境報告書発行
COP10生物多様性交流フェア出展
地球環境会議 11月 (横浜)サイト環境監査(経営A、現場A評価) 12月 環境e-ラーニング(管理者)、CSR月間、エコプロダクツ 1月 東芝グループ環境展 2月 省エネルギー月間行事
内部環境監査(実務、順法、システム)
(軽微な不適合10件、観察32件) 3月 (TMAT)環境報告書発行
マネジメントレビュー | <p>II) 環境コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月 [電力社](電力生)[環境] 5月 [電力社](電力生)[環境]実習生、WETサンプリング
日本環境教育学会発表(沖縄) 6月 磯子環会アマモ花枝採取会、磯子区環境パネル展出展、
自然観察会 7月 神奈川県環境インターンシップ研修生、慶応義塾大学 8月 (京浜)インターンシップ生 9月 (CMC)インターンシップ、(RDC)(CMC)環境情報交換会、
生物多様性セミナー(横浜市、神奈川県) 10月 慶応義塾大学、(青)、COP10生物多様性交流フェア出展 11月 八戸高専、電通、産業医大(医学部、産業保健学部)、デンソー 12月 法政大学、杉田小学校5年生、磯子区環会、
東京FM杉田小学校ラグーン訪問の取材、
いそごどもエコフェスタ(パネル展)
(RDC)(CMC)(横浜)交流会、(本)(環境) 1月 東芝科学館、森中学校職場体験、東芝グループ環境展出展 2月 省エネパトロール2回、省エネ家電販売促進会、ライトダウン 3月 健保連神奈川横浜支部会 |
|---|--|

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

<p>磯子エンジニアリングセンター</p>  <p>原子力総合プラント エンジニアリング</p>	<p>電力・社会システム技術開発センター</p>  <p>水中点検味*ット 原子力プラント の技術開発</p>	<p>デバイスプロセス開発センター</p>  <p>次々世代 半導体の研究</p>	<p>東芝マテリアル(株)</p>  <p>金属材料部品の 開発</p>	<p>マイカ燃料電池開発センター</p>  <p>小型燃料電池 の開発</p>
--	--	--	--	--

環境コミュニケーションの紹介

- ①地域小学校：杉田小学校、森中学校
- ②地域住民：磯子区環境を考える会
- ③近隣大学：東海大学大学院、産業医大、慶応義塾大学、法政大学
- ④その他学校：八戸高専
- ⑤近隣企業：磯子環会、健保連横浜支部
- ⑥地域行政：磯子区消費生活推進員、磯子区環境パネル展
- ⑦社内関係：[電力社]、[V P社]、(青)、[DN社]、(RDC)、科学館等
- ⑧その他：展博出展(COP10生物多様性交流フェア、エコプロダクツ2010、東芝グループ環境展)、
東京FM杉田小学校ラグーン訪問取材等 合計40件
- ⑨(横浜)環境報告書発行(9回目)10年10月、東芝マテリアル(株)環境報告書(6回目)11年3月

2011年度 (株)東芝 横浜事業所 環境方針

横浜事業所は、原子力事業に関わるエンジニアリング部門・技術開発部門、半導体の先端技術の研究部門、小型燃料電池の研究開発部門、並びに、材料・部品・電子デバイスの設計・製造部門、最先端の生産技術の研究開発部門、建築設計部門、光記録装置の開発部門を有する多様な事業環境の集合体です。当事業所は、この事業環境、及び東京湾に面した立地環境を踏まえて環境保全を経営の最重要課題の一つと位置付け、環境に配慮した研究開発並びに製品作りを行い、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指して、持続可能な社会の実現に貢献すると共に、より良い地球環境を創造します。

1. 当事業所の事業活動、研究開発、製品、建築設計及びサービスにかかわる環境側面について、生物多様性を含む環境影響を評価し、環境保全活動の実績を踏まえて技術的・経済的に可能な環境目的・環境目標を設定及び定期的な見直しを行い、環境マネジメントシステムとその環境パフォーマンスの継続的改善に全員で取り組みます。
2. 環境保全に関する法令、環境保全協定、東芝グループ第4次環境アクションプラン、当事業所が受入に同意した企業行動指針、顧客要求事項、その他の要求事項を順守すると共に、自主管理基準を設けて環境保全のレベル向上を推進します。
3. 事業活動が環境に及ぼす負荷を低減及び汚染を予防するため、次の活動を推進します。
 - 1) 高効率機器の導入、工場・事業場判断基準の順守などによるエネルギー使用の効率化及びCO₂排出量の抑制
 - 2) 廃棄物総発生量の抑制及び廃棄物ゼロエミッションの継続
 - 3) 化学物質の管理徹底及び排出量の削減
4. 本来業務における環境配慮活動を積極的に推進します。
 - 1) 研究開発及びエンジニアリング業務における環境配慮
 - 2) 環境調和型製品の開発、提供
 - 3) 環境調和型生産技術の研究開発、建設設計のサービスの提供
 - 4) スタッフ及びサービス業務における環境配慮
 - 5) グリーン調達を推進
5. 東京湾閉鎖性海域に隣接した立地環境を認識し排水管理を充実させると共に、生物多様性の保全を考慮して、地域社会と密着した環境コミュニケーションを継続的に行ない、地域への貢献と協調を図ります。
6. 環境への取組状況を環境報告書等を通じて積極的に公開します。
7. 所内全従業員は環境教育などを通して、環境方針の理解と環境保全に対する意識を向上し、行動を実践すると共に、環境管理の先導者の自覚を持って、その家族の啓発活動を行います。

～ この環境方針は社内外に公開します ～

改定 2011-04-01

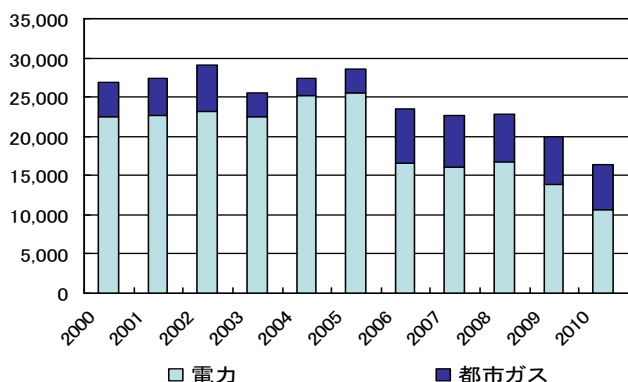
eco スタイル

(株)東芝 横浜事業所
環境保全責任者

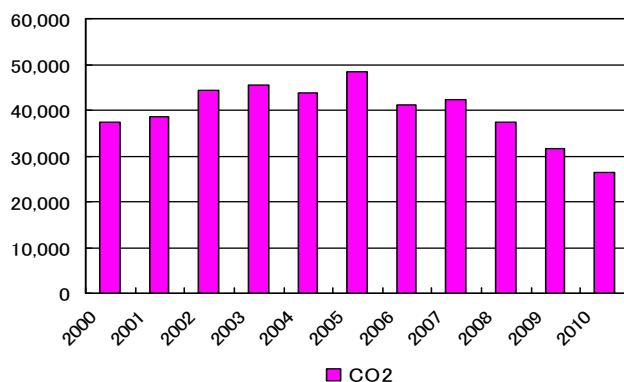
大島次郎

環境負荷データ

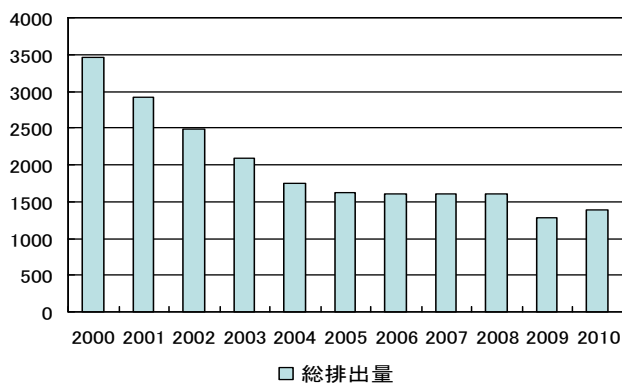
エネルギー使用量(単位:KL)



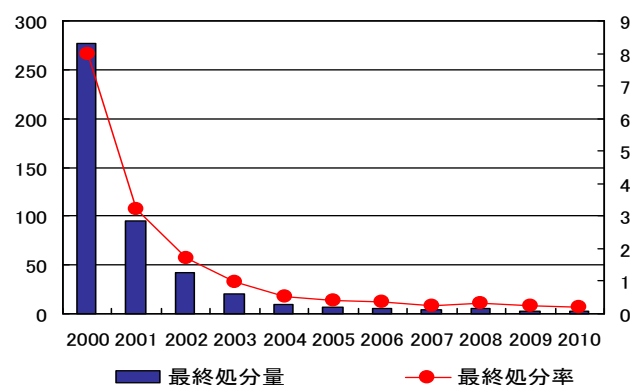
CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

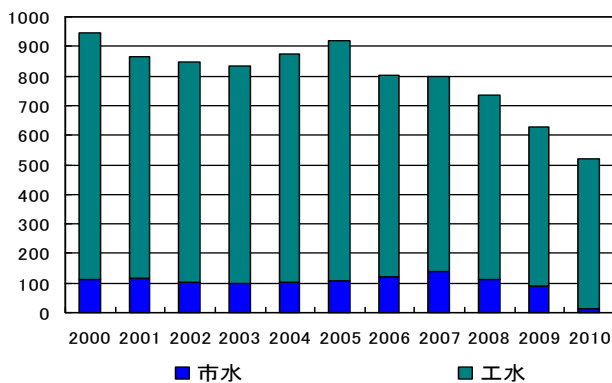


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

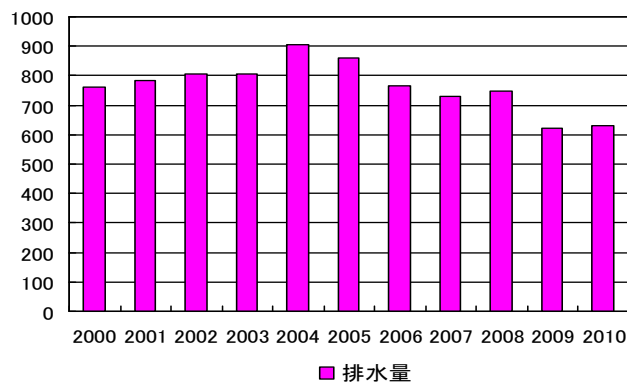


主な廃物名:汚泥、金属、紙屑、廃プラスチック、廃酸・廃アルカリ、廃油等

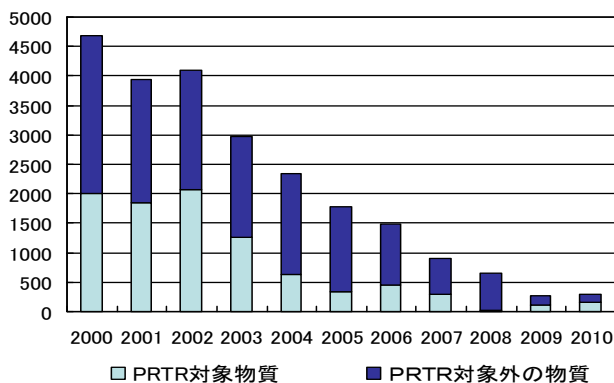
水の使用量(単位:千m³)



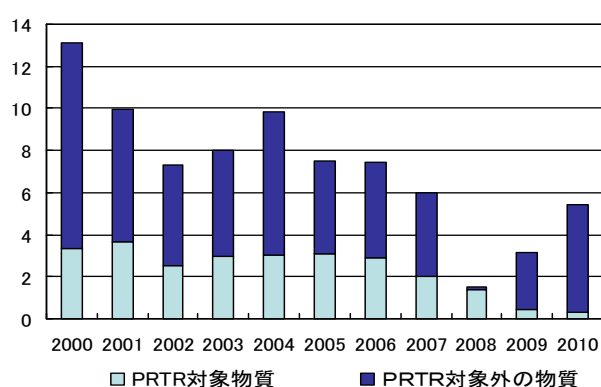
排水量(単位:千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質:モリブデン及びその化合物、キシレン、トルエン、アンモニア、硫酸等

遵法管理状況

<大気測定結果> 貫流ボイラー、ガス冷温水機(都市ガス使用)11台

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	70~31	68~30	10~53	年2回
SOx(Nm3/h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん(mg/Nm3)	0.04	0.04	0.002	年2回

<排水測定結果> 第1放流口 東京湾へ放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	6.0~8.5(協定値)	6.1~8.4	7.7	月2回
BOD(mg/ℓ)	24(協定値)	23	7	月1回
COD(mg/ℓ)	20(協定値)	16	4	月2回
SS(mg/ℓ)	60(協定値)	48	9	月2回
窒素(mg/ℓ)	40(協定値)	32	4	月2回
フッ素(mg/ℓ)	8(協定値)	6.4	0.5	月2回

<排水測定結果> 第2放流口 東京湾へ放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	6.0~8.5(協定値)	6.1~8.4	7.4	月2回
BOD(mg/ℓ)	24(協定値)	23	2	月1回
COD(mg/ℓ)	20(協定値)	16	4	月2回
SS(mg/ℓ)	60(協定値)	48	2	月2回
窒素(mg/ℓ)	40(協定値)	32	2	月2回
フッ素(mg/ℓ)	8(協定値)	6.4	4.9	月2回

<騒音・振動測定結果> 非対象

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	—	—	—	—
	敷地境界:夜	—	—	—	—
振動(dB)	敷地境界:昼	—	—	—	—
	敷地境界:夜	—	—	—	—

<その他測定結果> 非対象

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	—	—	—	—
BOD(mg/ℓ)	—	—	—	—
SS(mg/ℓ)	—	—	—	—

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし